好古圖彙

1 5
1485
1

14
1455
1

門 15
號 1485
卷 1

大阪大學 図書館
昭 34.9.15
藏 書

大成至聖文宣皇帝孔夫子

右ノ尊号ハ天子尊崇有セラルカクノ如シ御氏ハ孔御諱ハ丘
御字ハ仲尼トソ申奉ル黄帝ノ御子孫ニシテ代々ニ聖人出ラ
コト多シ黄帝ヨリ十八代ヲ聖人殷ノ湯王トス湯王ヨリ二十八代
紂王迄ニ賢明ノ君六七人作リ王ヲ紂王ノ時ニ殷ノ代ヲヒテ周ノ
代トナル紂王ノ弟微子ヨリ十三代ヲ御父叔梁紇トス御母ハ
顔氏ニシテ御名ヲ徵在ト申奉ル右殷ノ代ヲヒテ後ハ其後流
皆宋ノ國ニ在シ王ヲ宋ハ殷ノ後ナリ聖人ノ御父母尼丘山ノ神霊ニ
御祈リ有テ祥瑞現ハレ誕生有セ王ヲ天ヨリハ五老ノ星下リ闕里トス
里ヨリハ麒麟出現シ又二ツノ龍其室ヲメグリシト云々是時中華ハ
周王ノ御代靈王即位二十一年十月庚子二十四日ナリ天朝ハ第二世綏靖

天皇御即位三十一年八月三日當ル又聖人ノ嵗御周王敬王四十
一年四月乙丑八日ナリ　三月八日共云　天朝ハ第四世懿德天皇御即位
三十二年二月八日ニ當ル聖經ノ天朝ヘ渡リシハ第十六世御宇應神
天皇ノ十六年百濟ノ國王ヨリ阿直岐ト云者ヲ使者トシテ孝經
論語ヲ天子ヘケンスツシテ學士王仁ヲ渡シ來ル王仁ハ咲ヤコノ
花ノ歌ヲ讀シ人ニ仁德帝ノ御師範ナリ其後天智帝ノ御宇
始テ學校ヲ作リ玉フ持統帝ノ御宇聖人ノ廟ヲ建玉フ文武帝ノ
御宇釋典ノ禮ヲ備玉フ孝謙帝ノ御宇學問ノ諸生ヲ養玉フ迚
地領ヲ下シ玉ハリシトナリ　儒經ノ始テ渡リシヨリ今年文政十二丑年ニテ
千五百四十二年ナリ

曾子　諱參字子輿禹王後裔
后世宗聖武城公曾子尊号　周敬王三十六年正月十五日卒　和土月也

孟子　諱軻字
鄒国公亞聖孟子尊号

大成至聖文宣皇帝孔夫子眞像

文宣王　顏子曾子
子思孟子　從祀程明道程伊川邵康節
張横渠周茂叔朱文公

聖堂鎮座

本邦第一之学校
實東一盛典也
儒宗林祭酒世々司

孔廟及學校の沿革

文武天皇孔廟を建てられ天智天皇の時始て建る処聖徳太子の
ち孔子を祭り永正年間に至る孔廟の基柱残りて神殿の
和尚茶屋の中にあるこれを今に残さくさくるのみ
東都にて寛永年間に東叡山に学問の建る処
昌平坂の聖堂に移し元禄処に聖像を置列西に武学弘文院
羅山子林氏に出る所に学問所を設て地面を給り元禄
四辛未年八月上野に遷営
学校を建る寛永元年に学寮三十所を置る寛文年間
に至て聖堂を造る
桓武帝延暦十三年九月都を西京に
三所を置く始て百三十余所を創学問所と号して学校を建る
始て建る学校を隋と云る橘の古麿創学院と

云る学問の為に創始て建る弘文院と和気の清麿上奏して
学校を建る養和六年山城に学と建る文永年中山城に
武学を西京に学校を開き今に文庫と号して
足利今に及て破壊伝て関東に
とりて元亨文安年間絶る

常憲院御筆

聖堂

入徳門

大成殿

仰高

聖堂品々獻上目録

甲府

○三大全　唐本　松平大和守
四書大全
五經大全
性理大全
狩純子大紋裏白ヤ表紙紗金
裏金砂子書物黄色三染ルミツ
ノコハセ金彫物唐草

○二十一史　尾州
史記　西　前漢書　三十六　後漢書
三十四　三国志　西　晉書　三十　宋書　三十
南齊書　十　梁書　四　魏書　二十六
北齊書　六　周書　六　南史　二十
北史　三十八　隋書　三十　唐書　五十
五代史　八　宋史　百　遼史　十二　金史
三十四　元史　五十
狩純子萌黄杜丹唐草中紋裏白羽二
重表紙唐紙コハセ赤銅彫物唐草外
題明朝流ノ板

○孔聖全書　唐本　松平大和守
狩フクミ純子裏白羽二重表紙
ウスカキ唐紙コハセ赤銅

○二程全書　松平出羽守
三ツ紋砂ミルヤ色表紙紗

○孔廟禮樂考　松平若狭守
狩茶地繻珍裏白羽二重コハセ

○性理會津　松平中務大輔
狩純子紫中紋裏白羽三重コハセ
赤銅ウミ唐紙

○太平廣記　同御覽　松平加賀守
金灯籠二　御手水鉢石

○十三經註疏　紀州
白紙本狩純子萌黄中紋杜丹唐草
裏白練表紙コハセ四分一彫物唐草
外題柳原玄輔

○和朝史記　水戸
舊事記　古事記　日本記　續日本
後記　三代實録　文德實録
書本也表紙黄色紫糸ムスビト　三
筆者ノ図三差二冊　五十人　嵩山堂左ニ冊

○通鑑司馬公　松平讃岐守
狩純子唐茶中紋雲亀裏白練
表紙唐紙コハセ赤銅唐草彫物

○大平御覽　松平薩摩守
文苑英花　全八百冊　府元亀　全三百五十
外題佐々木万次郎
狩純子茶色杜丹唐草表紙
カキ唐紙杜丹唐草ノミガキ

○祭器　松平陸奥守

○毛詩　細川越中守

○三才圖會　全三百　玉海　松平肥後守
狩赤地唐花フクミ純子裏白
唐繪ノ緒コハセ赤銅ノ彫物

○御机　松平安藝守

○四書大全辯　松平丹後守

○樂器　松平伯耆守

○同　松平伊豫守

○四書集註　松平左京大夫
五經集註　唐本
文公家禮儀節　外題柳原玄輔
狀紙子紺小紋糸樓裏白練　唐
表紙ニハセ四分一
○朱子語類大全　朝鮮本　松平摂津守
同年譜　同貫記
狀紙紗萌黄裏白羽二重唐紙ノ
表紙也ニハセ赤銅唐草ノホリモノ也
○邵子全書　松平出雲守
○五朝言行録　松平播磨守
○通鑑全書　明朝新撰　松平兵部大輔
狀フクサ紙子朽葉色裏白羽二重表
紙ウヲニ唐紙ニハセ赤銅彫物

○爵　井伊掃部頭
○深衣　藤堂和泉守
○御香爐　松平淡路守
○御翠簾　佐竹右京大夫
○歴代君臣圖石摺　四帖　松平越中守
○正續桃海　全三百　本多中務大輔
○孔子聖跡之圖　同　下野守
○書机　水野左近大夫
○草帋　二張　土井周防守
○水引　南部大膳大夫
○旗　釋尊ノ　同　遠江守
○孝經石摺　厳鴻堂同　松平伊豆守
表紙黄紗ノ千金フクロニスカハ色
○朱子文集大全　朝鮮本　同　宗　對馬守
同語類
狀繻珍茶地小紋裏白練ニ外赤銅彫　外題佐々方

聖堂棟鬼（キ）狀頭（トウ）

寛政十年　巳未冬成

ニ尺五寸

九貫二百目

鳥威幅　手五分　厚サ　ニノキニ　五分　鐵目

能潮水ヲ吹故ニ火災ヲ厭ヘキ呪器也

鱯（ミヤイホウ）

鬼龍（キリウシ）子

○ 西王母 女仙之隱ル者 [illegible]

隈惟 [illegible] 上利 [illegible]

常山 [illegible] 列子 [illegible] 初平 [illegible]

一氣 [illegible]

聖子 [illegible] 扈一教 [illegible]

○ 孫康 [illegible] 休穆 [illegible]

李白 [illegible] 林和靖 [illegible]

黃石公 [illegible] 黃帝 [illegible]

晉王質 [illegible]

○三顧　高士伝　陶淵明　孔子弟子　孟子　三人笑云

○高山仰止　毛詩　周公　孔子　孟子　孔子　孟子

○七賢　竹林七賢　阮籍　阮咸　向秀　刑伶　山濤　王戎　嵇康

○伯夷叔斉　孤竹君　陶淵明

○羽扇綸巾　諸葛亮　仙格　孔明　羽扇　綸巾

○お宮参り　陶淵明　范蠡

○桃園結義　桃園　関羽　張飛　劉備

○列列　列列ハ年ヲ重ル事

○二十四孝

大舜　文帝　曾参　閔損　仲由　董永　剡子　江革　陸績

唐夫人　呉猛　王祥　郭巨　楊香　朱寿昌　庾黔婁

老萊子　蔡順　黄香　姜詩　王裒　丁蘭　孟宗　黄庭堅

孔門十哲

顔淵　閔子騫　冉伯牛　仲弓　宰我　子貢　冉有　季路

子游　子夏

○柳下惠　嘗ていと倶に貧し　古義　呉魏蜀三国人　千和　和光同塵

○前漢三傑　張良　蕭何　韓信

○蜀漢龍鳳五虎　諸葛亮　張飛　関羽　趙雲　馬超　黄忠

○戦国十二将　管仲　孫武子　呉起　范蠡　伍子胥　孫臏

魚仲連　樂毅　田単　廉頗　藺相如　白起

○三山方壺　方丈の事　蓬莱壺　蓬莱の事　瀛洲壺　瀛洲の事

○閔文子ハ民懷ト云ヒ民恢ト云ヒ名ハ[illegible]ト云ヒ[illegible]ト云ヒ[illegible]ト云ヒ

○あるに晋ゝ孫濃ゝ元花付しと云ふ知音花を
元せしに孫濃又知音に陪ゝ又趙雲あるに知音を亡ス孫濃於
趙雲ゝ知ゝ音ゝ云ふ趙雲ゝ知音を宮云知音を作せり
亦ゝ知ゝ音ゝ云孫濃答曰先ゝ花を付ゝ亦ゝ平ゝ生ゝ知ゝ
陪ゝ知音ゝ亦ゝ陪ゝ知ゝ音ゝ亦ゝ陪ゝ知ゝ音ゝ亦ゝ陪ゝ知ゝ

面をうとをうを見るを笑ひしれハ易公曰て亦代々こゝろ和て為ス師
慢面くこゝろ面ハ師ハ強く強さぬるゆゑ為きといくし孔子こゝろ
易公ゞ公ゞくハ面そくも敬ず〳〵世ゝ智と知ること稱する智ゝ人ゝ大ゝ
智吸ゞ公ゞて公ゞるも学功を敬せぬあるゞ〳〵
○人ゝ万ゝの塞翁ゞ馬ゝ塞翁ゞ馬ゝ〳〵ゝ知ゝ出ゝ
吳ゝゝて彼ゝ神ゝ丈ゝ連ゝゝ吳ゝ翁ゞゝ家ゝ試ゝ誤りて
為ゝゝ〳〵怪ゞ乱ゝ吉ゝ凶ゝ保処陽ゝ
皆ゝ〳〵嗚ゝ戦場ゝ戦死ゝ負ゝ
吳ゝ〳〵吳ゝ吉ゝ凶ゝ計ゝ縄ゝ〳〵福ゝ禍ゝ禍ゝ人ゝ
塞翁ゞ馬ゝ〳〵
○孟嘗君と云ハ重寵ゝ者ゝ〳〵ハ孔子こまきれ
吳ゝれハ為ゝ三ゝの客ゝ内鶏鳴ゝ人物の鳴ま真ゝ〳〵

○鄭子産名ヲ敢校人合ゝ偽ゝ○兄弟墻鬩トモ外其侮ヲ禦ク
○魯ゝ丈重孫氏獵して臣庫ゝ
言て為ゝ孫氏を金ヲ言ヲ吳ゝ遠敵ゝ
○鄒忌穆ゝ為ゝヲ沈ニ鉤ニ釣ニ獨ヲ眠ス獨為て氏ノ第二石と独一石と
元易有夏曰夢ゝ第ヲ眠せゝと云ゝ為て吳ゝ第ゝ人ゝ合ゝ仏年号三眠
せんやと宣年吳ゝ〳〵ゝ戦ス
○女媧氏ゝ伏羲同母ゝ姉ゝ伏羲を補佐〳〵昭明ゝ倒をてゝ
伏羲崩ゝ後ゝ女氏ゝ中一芳山孔を刑て女媧氏を刑てゝ
大平ゝて賢ゝ聖ゝ〳〵ゝ稷功ゝ石ゝ出ゝ〳〵ゝ功あるを
ゝゝ世代ゝ入ゝゝ〳〵ゝ
○蒲公ゝ八弟ゝ〳〵ゝ舜ゝ師ゝ
孔子ゝ師ゝ安筆師ゝ少長を期せて安を期せ

○楚王ノ宴ニ孔子ヲ召シ酒ヲ飲ムトキ官吏来リテ魚ヲ献ス王
ヲ捨テ人ニ与ヘ其ノ人ヲ捨テ人ヲ捨テ孔子ヲ侍ス王ノ人ヲ
ヲ楚ノ宮ニ入ル孔子ハ帥ヲ下リ心ハ楚ノ人ノ遺ニ在リ王ノ人ヲ
捨ルトハ何ノ故ニ帥ヲ脱ス人ヲ捨テ捨ルトハ帥ヲ捨ル人ヲ捨テ
又其ノ人ヲ捨ル人ト云ヘリ帥ヲ捨ルハ心ハ人ニ捨ルト云ヘリ
帥ヲ捨ル人ハ心ハ人ニ捨ルト云ヘリ

○晉君ハ羊ヲ献ス晉ノ宣ハ車陽ニ会シ狩ス
其車陽ノ会ヲ召シ羊ヲ献ス解狐ハ仇ナリ其ノ羊ヲ受テ
入ル者ヲ召シ羊ヲ献ス又祁黄羊ニ問ヒ曰ク誰カ可ナル
ト云フ祁黄羊ハ解狐ノ仇ナリ解狐ハ黄羊ヲ推ス
ト云フ公曰ク黄羊ハ汝ノ仇ナリ何ノ故ニ汝ヲ推ス
ト云フ祁黄羊ハ公ノ問ヒ有リテ公ノ問ヒ有リテ
ハ公ノ問ヒ有リテ公ノ問ヒ有リテ公ノ問ヒ有リテ

物ゝ事ゝ言ふ処へ為義あらくいふ処へ伝ふ事ニ
叶ハぬと叶とゝ○孔子ゝ家ゝ家ゝ舟ゝ家ゝ
川人をゝて孔子ゝ偽ゝ孔子ゝ門ゝ手ゝ
市へ行ゝ事ゝ伝ゝ出て泣ゝゝハ是偽ゝて
哭ゝゝ嫁ゝ魏ゝ義美ゝ言ゝて会ゝ
と云ゝゝ妻ゝ遣て推止ありや歳ゝ曹ゝ改ゝ禅ゝ
歳ゝゝ嫁ゝ聞ゝ児ハ家ゝ性ゝ高ゝ
ゝのゝゝ嫁ゝ教ゝ
魏ゝ言ゝて聞ゝ男ゝ会ゝ
告ゝ市ゝ市ゝ荒ゝ
ゝ報ゝハ掴ゝ文ゝ伝ゝ
ゝ歌ゝ

べし三人ゝ有り先ゝハ夜ゝ時ゝ伝ゝ
曹参ゝ郭ゝ門ゝ時ゝ門ゝ名ゝ人ゝ
門ゝ告ゝ伝ゝ
又一人ゝ有りて先ゝ疑ゝ又告ゝハ
○曾ゝ子ゝ論ゝ逃ゝ時ゝ
植ゝ父ゝ
ゝ報ゝ唱ゝ
○弱ゝ晋ゝ仏ゝ
身ゝ
○宋世祖ゝ
ゝ段ゝ
ゝ劉慎ゝ
ゝ哭ゝ

ゝ伝ゝ
ゝ人ゝ
ゝ捨ゝ
ゝ人ゝ
ゝ参ゝ
ゝ哭ゝ
ゝ段ゝ
ゝ世祖ゝ
ゝ哀ゝ

流るゝ涙をながしゝ帝やがて涙をながして隨侍の刺史ごとに又涙を流
とゝ共に哭せるなり是も苟なるに哭せるまゝ哭声高く哭して哭声高く
あと跡なる事度々又善高に居やうに思ひなるなり御あつて高く涙流
るゝ〳〵ハ苦悩〳〵と刻ハ答て果列に御あつて高く涙流
事ヲ思ニ公ハ苦しゆゝて面こう涙ヲ流〳〵ゝりと答
○曾こう公ハ哭と云ハ午ニ向ひて哭ヲ強き陰角こう揺いと面白く
揺揺せとも午是ヲさうゝ伝〳〵河ヲ牧牧ヲ牧ヲ音声をうゝうゝ鳴とて
牧や表こう声又乳さゝ悦こう鳴やうゝなる揺ヲ高ひ八午飲て是少心ニ
叶ひぬと叶とこ

諸葛孔明木午流馬造法

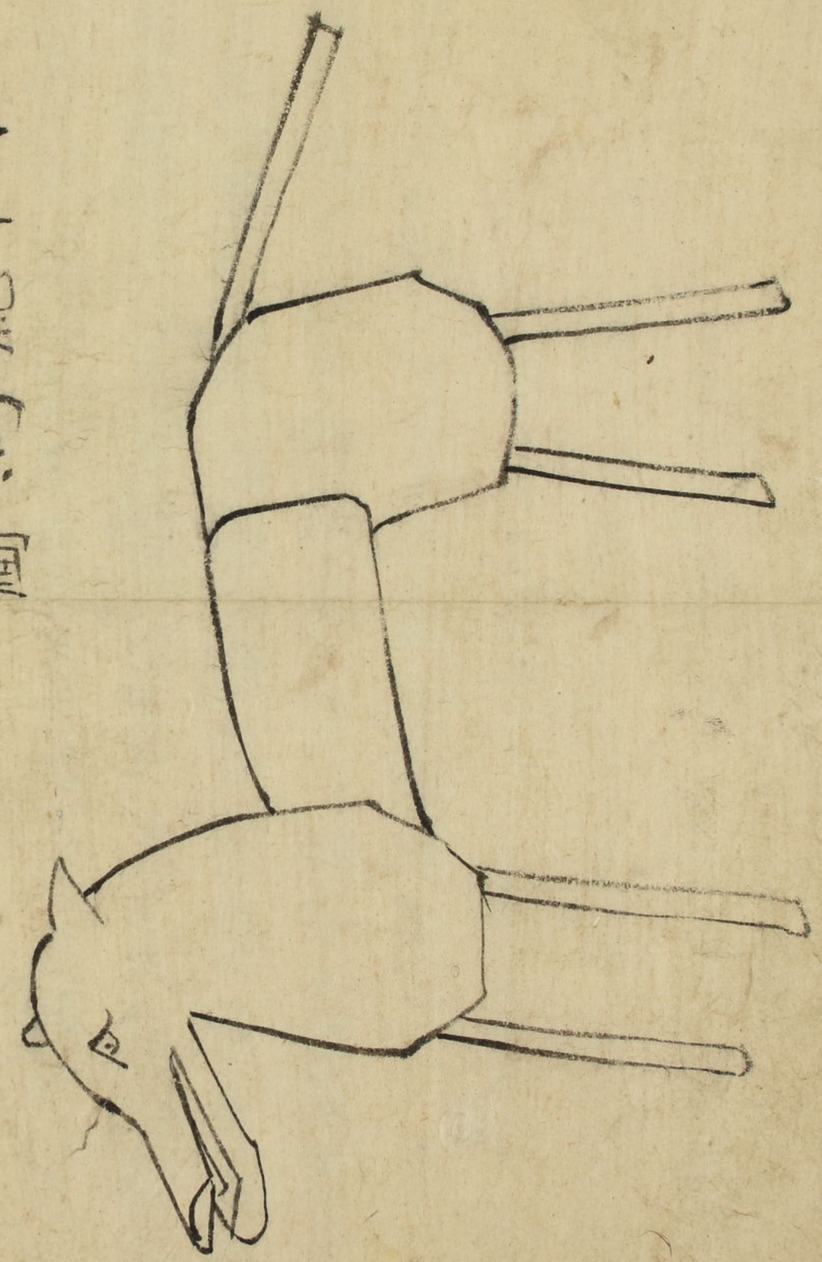
方腹曲脛一股四足頭入領中舌着于腹載多而
行少獨行者數十里壹行者二十里曲者爲午頭雙
者爲午脚横者爲午領轉者爲午足覆者爲午
背方者爲午腹垂者午右曲者爲午勅刻者爲午
歯三者爲午角細者爲午鞍攝者爲午軟鞄午御雙
轅人行六尺午行四歩毎午載十人所食一月之糧又
不太勞午不飲食也

同寸尺

肋長三尺五寸廣三寸厚二寸二分左右同前軸孔分墨去頭四寸徑中寸前脚孔分墨寸去前軸孔四寸五分廣寸前杠孔去前脚孔分墨寸七分孔長寸廣寸後軸孔去前杠分墨一尺五分大小與前同後脚孔分墨去後軸孔寸五分大小與前同後杠去後脚孔分墨四寸七分後載尅去後杠孔分墨四寸五分前杠長一尺寸廣寸厚寸五分後杠與等

板方裏二枚厚八分長二尺七寸高一尺二寸五分廣

一尺二寸每枚受米二斛三斗從杠孔去肋下七寸前後同上杠孔去下杠孔分墨一尺三寸孔長一寸五分廣七分八孔同前後四脚廣二寸厚一寸五分形制如象鞋長四寸徑面四寸二分孔徑中三脚杠長二尺一寸廣一寸五分厚一寸四分同杠耳



大漢韓信圖

孫武子語

其疾如風
其徐如林
侵掠如火
不動如山

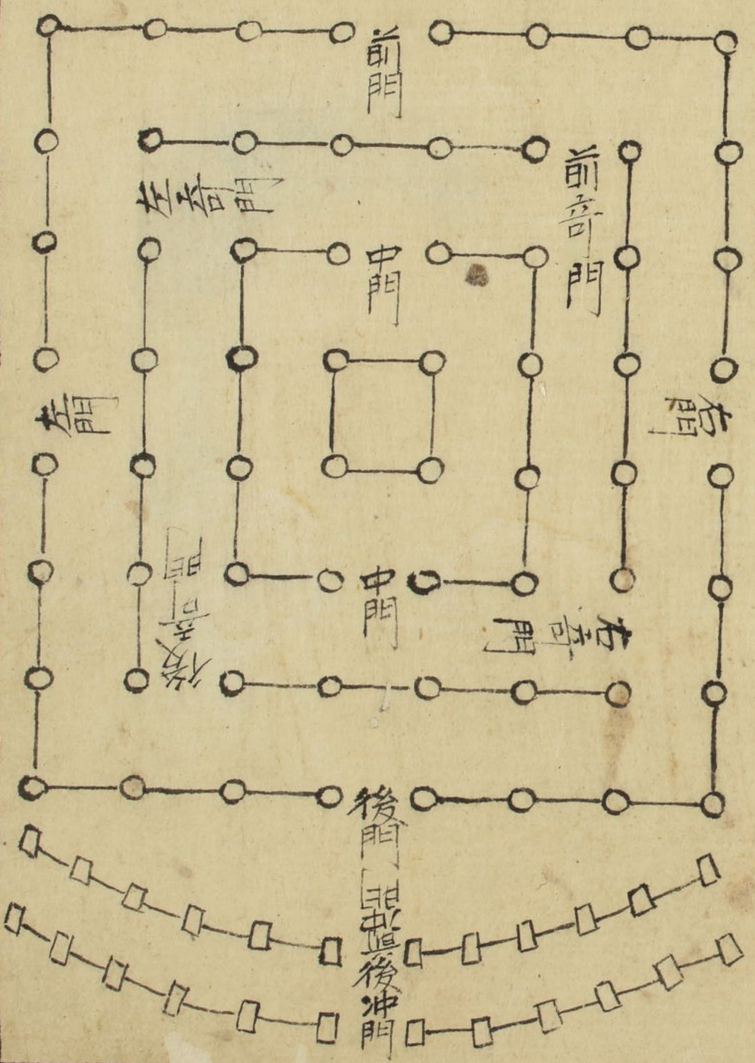
大漢韓信 囊沙背水陣

諸葛孔明八陣

天
地
風
雲
龍
鳥
虎
蛇

諸葛亮
八陣開門
分四正四
奇四冲圖

瞿塘八陣
魚復江八陣
天地風雲
龍虎鳥蛇



大漢丞相諸葛武侯亮孔明直像

蜀帝劉玄德称昭烈皇帝垂劉禪治世時
蜀建興十二年秋八月壬寅薨壽算五十四歳
葬蜀定軍山廟沔陽建四時怠祭

諸葛武侯廟前柏木唐美題詩

錦管城外栢森々
隔葉黃鸝空好音
丞相祠堂何處尋
映階碧草自春色
兩朝開濟老臣心
三顧頻煩天下計
長使英雄淚滿襟
出師未捷身先死

宋東坡庙記曰

密如鬼神疾若風雷進不可當退不可追晝不可攻夜不可襲多不可敵少不可欺前後應會左右指揮移五行之性四時之人也神也仙也吾不知之真臥龍也

延平李先生朱子謂曰

孔明不若子房之從容子房不若武侯之正大也

宋參政葉士毓刀贊曰

退莫追兮進莫攻
神機妙筭誰能測
來如風雨去無踪
果是人間一臥龍

程伊川挽詞曰

六出雄師度劍關
巍々功業蓋三國
運謀投策笑談間
凛々威風鎮八番
羽扇綸巾扶社稷
忠肝義膽展江山
壯懷未遂身先喪
堤起令人血淚斑

戰國十二將　管仲　孫武子　呉起　范蠡　伍子胥　孫臏
魯仲連　樂毅　田單　廉頗　藺相如　白起

前漢三傑　張良　蕭何　韓信　後漢同　鄧禹　呉漢　馮異

蜀漢龍鳳五虎　諸葛亮　張飛　関羽　趙雲　馬起　黄忠

堯八元舜八凱周十亂漢三傑世祖二十八將太宗十八

學士

弘文院羅山林道春俗称也

○信玄梅又三郎ハ信玄の長十年巳月二年巳の秋　祖父ハ
玄　長家朝臣ハ　年ハ　信玄ハ　長十年巳月二年巳の秋　祖父ハ
世ゝ　光武ハ高祖　光武ハ高祖
さりけれハ　伊勢ハ　光武ハ高祖
ゝ孫　光武ハ高祖
伊勢ゝ書　又反堀番ゝ
反堀番ゝ　文反堀番ゝ
ゝ警　文反堀番ゝ
祖ゝ　文反堀番ゝ
年ゝ　文反堀番ゝ
○西伯二七四年　正月十九日ゝ夜　古獻陰符の最三篇ハ例ハ

[illegible]と呼ひ仕され世保[illegible]中伊[illegible]如こ世張と易学[illegible]
刑[illegible]所並[illegible]
[illegible]
[illegible]

○[illegible]指指ちゑ文和列張山柳居士[illegible]文[illegible]武術士之居園
柳居氏[illegible]墨茶[illegible]家公[illegible]号[illegible]任[illegible]雑志[illegible]
[illegible]

○平[illegible]居[illegible]号[illegible]溪戯名[illegible]門[illegible]和[illegible]
[illegible]永八[illegible]年[illegible]月[illegible]号[illegible]智[illegible]隆[illegible]士
[illegible]居号[illegible]指揚[illegible]居[illegible]
○支[illegible]郎[illegible]号[illegible]元年[illegible]
杏華園[illegible]敵[illegible]
自戒名ヲ杏華園公[illegible]日休[illegible]
[illegible]年[illegible]
○[illegible]佐文山[illegible]佐[illegible]柳[illegible]百助名[illegible]
四[illegible]佐文[illegible]保十[illegible]年[illegible]寿[illegible]
[illegible]華[illegible]

○[illegible]探幽延宝元丑年十月廿七日没年[illegible]三歳[illegible]
[illegible]作者山[illegible]帝[illegible]氏名[illegible]
七日没年六十四[illegible]四[illegible]墓○[illegible]
[illegible]永元甲年二月[illegible]没年八十二[illegible]石川若狭[illegible]
世の中[illegible]
称[illegible]文化十四丑年二月　没○十[illegible]
[illegible]墓[illegible]辞世[illegible]
○[illegible]
[illegible]辞世[illegible]
没[illegible]心光院墓○書[illegible]江保録[illegible]
[illegible]八辰年六月十[illegible]没年[illegible]
文化[illegible]辰年十二月十九日没[illegible]
[illegible]墓○画工[illegible]

[illegible]墓○歌[illegible]四[illegible]文化[illegible]辰年九月[illegible]没年[illegible]
四[illegible]墓○能[illegible]
十七[illegible]年六月十三[illegible]没年八十六[illegible]
[illegible]十九[illegible]年[illegible]墓[illegible]
[illegible]永[illegible]年六月[illegible]没年六十○[illegible]歌[illegible]
[illegible]称[illegible]
平[illegible]三次保[illegible]中一[illegible]墓○六樹[illegible]
没年八○平[illegible]作[illegible]
○[illegible]師[illegible]
[illegible]三[illegible]人○[illegible]石[illegible]文化[illegible]辰年九月[illegible]没

學者座言

足下　あなたのこと
札駕　御ぞと
指使　ちゑのる
貴堂　御ふくろの
尊閨　御いぬの
相識　ちゑつぎの人
故人　ふるなじみ
敖蕩　どらもの

不佞　われらと
過訪　ゆきつ
大夫　あれのる
令郎　ゆうの
豚児　せがれ
知己　ちゑづき
無類少年　みめちあしき
勁東西　あるく

僕　われらと又れらいと
青雲　世のる
尊大人　ヤ
令弟　ゆうの
荊釵　我妻ナリ
社友　ともだち
高陽徒　ちゑ
龍陽　ゆうしゅ

頑童　ものしり
彼方　をやま
歌妓　けいこや
雅物　ものしりの人
滑稽　おもしろ
[illegible]　まくらそ
風塵　せんとめ
馬牛不相及　ものちがふ
伏枕　ものちがふ

玄物　ものしり
情郎　をとこ
無妓　あとりる
俗物　ものしらぬ人
青樓　かるまち
落魄　ものちがふ
閑暇　ひまなる
易簀　わどへくて

國色　えめ
情妓　をとこ
封閉　たいこもち
劇場　芝居
登樓　あがやなて
懶隋　ものぐさ
豊饒　ものしらぬ
寒栗生　ものしらぬ
夜臺　ふぐ

虛誕　ものいふ
逆旅　たび
忘憂　さけ
行厨　べんたう
駝馬　ものをせめる
世事紛冗　ものごと
見惠　あをりらる
二臺　ものしらぬ人
粉本　ものごきのもと

饒舌　くちやかましき
睥睨　人をそすぐる
啣杯　さけ呑る
佩刀　ものさし
好事之癖　ものすき
如蝟毛　ものくせ
住惠　ものしらぬ
墨竹　すみのこと
雙鉤　つぎのふくべ

懸河雄辯　ものよ
酩酊　ものつぶれ
下物　ものさうふ
擊劍　ものいそ
賃物　ものもの
呈上　人へあを
返璧　あをとする
沒骨画　つけそのもの
積裝　ひやうぐの

雨衣　あまがつぎ
堂大廈　ひろきすまい
尤國　たかとかたと
輓近敝風　くづれるふうちうさま
福書　てがらん
門駆　すんりょうかくる
但徜徉　ちいさきかん
帙　ふくまき

浮屠氏
敝廬
尤氏司馬
得隴望蜀　つきあるりのよろこび
迂遠
雜駁　あのまぜくるをえ
扁　るこうく
柱駆　そしうりのれん
紗窗　まどのうつくまで
書　くるりう
活版　うえどのうえ
書及　たふのつのひやし
書厨　ろうそこ
書箧

朝弄
驚目
死矣

阿堵物　せのるのもの
懶架　のせるのもの
毛穎　そのるのもの
巨筆　おわりのもの
分筆　ちいるのもの
梅　ばいのもの
帽　そのさき
床　そのせ
匙　そすぐ

嚢金　るのるのもの
活帖　じずりてがり
毛附　そのるのもの
毛穎　そのせ
毛穎　あとさきるのもの
毛穎　あとのもの
界　けいひき
筒　そそ
筆池　そすぐ
板　そりさせ

貴竹　あんつひ
画帖　えのもりん
北心筆　きそのきそ
鼠髭筆　ねずみのひげ
猪毛筆　えのもの
筒　そて
竹　いて
筆架　いりけ
描金筆画　まきえのもの

陶泓　すりのう
天研　ちゃうてせき　のすり
澄泥硯　ねりどろの　すり
行硯　ぎょうすり
紫田硯画　しでんの硯彩
朱鉛　しゅすり
粉錠子　ちゃすり
竹紙　すすき
紙簽　つゆうみ　ふちうみ

紫石研　むらさき　石のすり
磁硯　やきもの　すり
朱硯　しゅすり
硯屏　けびすり
紫硯錠　むらさき　すり
秘閣　すりたさ　すりつう
紙札　きすり
几案　つくえ
水滴　ろうれ

木硯　きみすり
尾、　びとら
硯池　すりのうみ
陳玄　すりのこと
靛墨　あいろ　すり
毛氈紙　とうしゅ　ぬりえ
吟簽　ぎんせん
抽替九案　ちゅうたい　つくえ
蟶蜍注　せんちゅう　ろうの　みづいれ

朱案　ちゃぬりの　つくえ
雙桃注　すいさうの　ろうれ
壓書　ちょうしょ　ちょうしょ
梨　なし　ありのみ

壓尺　ちょうさく　ちょうさく
書鎮　しょちん　ちょうさく
書燈　しょとう　ちょうさくの　ちょうしょの　ちょうあの　ひとつ
銅印　どういん

書尺　しょしゃく
經橈　きょうとう　経帙の　ひも
四維帛燈　しいのう　ちょうとう　ひもとの　ちょうしょ
短檠　たんけい　たんけい

指燈　ゆびとう　ちょうしょ　ちょうもとの　ひとつ
烏有先生集　うゆうせんせいしゅう　ちょうしょの　ひとつ　こしらえ
石印　せきいん　いしの　ちょうしょの　ひとつ
子母印　しぼいん　ぬれこう　こがさる
刀子　とうし

投字碑　ていじひ　ていじひの　ちょうしょ
磁印　じいん　やきもの　ちょうしょ
印色池　いんしきち　えのぐ　ぬれ
印色池　いんしきち　えのぐ　ぬれ
博山　はくさん　かつら
錐子　すいし　きり
尺　しゃく　ものさし

糊斗のり瓦　鬱蝶めり白　裝軸　石盃

菖蒲盃　孔雀尾　加意　塵尾

無塵子　鐵如意　料絲屏　琴人

名伏羲様
昭瞭
伯牙
列子
各名あり

仲尼様琴面圖

龍龈
焦尾冠角　腰　鳳翅　琴七絃　竹角十三絃之
肩　岳山　兼露
額　鳳
弦眼

儒士様
道士、徳士、隠士、黄門、

琴面額。兼露。絃眼。肩。鳳翅。龈眼。岳山。
同背籠軫。軫池。龍池。鳳沼。雁足。

琵琶 佩文韻府ニ云宋張季克晉ノ阮咸制三ツノ樂器也
本朝三ツ八人皇平八代 光孝帝王子 兩夜親王初而琵琶ヲ制作秘曲傳來王子末孫久我家ヲ差而日本琵琶ノ祖トス
和琴 ハ日ノ起ハ万六ハ[illegible]ヲ[illegible]ト[illegible]ト[illegible]ト

篳篥 越殿樂譜

大鼓印

初 チ ラ グ リ チ タ カ
ヌリ四リ工ユ工ヌ四リ三ヌリ四リ一リ工四リ三

ロ ラ
ヌリ四リ〻 二反

中 ト ホ ロル ト ルロ タ
工リノリ五舌ヌ工リ五工四リ工五一リ工一工リ五 舌

タ カロ ラ
四リ三ヌ四リ 二反

終 ダ ハリロト ラリ
喫頭四リノヌ工一リ工工工リ〻工凡リ工工ヌ工リ三リ〻

トロ トルロリ イ 二反

五常樂 十天樂 大平樂 武德 雞眞 林歌
胡飲酒破 加殿急 夜半樂 老君子 迦陵頻 陪臚

篳篥 五常譜

十引〇下十〇乙乙〇下十〇乙乙〇工凡一引一引〇二返凡乙〇凡一〇
一工乙〇十一〇乙凡〇十下乙乙引乙引二返

文政六癸未年三月二日 於柳營 管絃御聽聞

呂 雙調 調子 安名尊 鳥破 只柏子 席田 鳥急 殘樂 胡飲酒破
律 平調 調子 伊勢海 萬歲樂 只柏子 五常樂急

琵琶 名 白雨神田治負作 德善寺大納言 和琴 無名古弦作者不知四辻前大納言
箏 性十五名時雨作者 四辻 中納言 不知誓弦箏性十八名 菱神田治負作

歌 綾小路前中納言 同 三位 持明院 三位
歌兼箏所作 箏無名神田治負作
琵琶 名 波竜 花園美作權佐

右衣冠衣單

笙　多　近江守忠賢　林　日向守廣好　岡　淡路守廣勝　多　大和守廣敬
　　林　李之助廣濟　豊　隱岐守文秋　豊前守則昇　東儀　出羽守季邑
篳篥　注　田斐守近義　安倍玄蕃權守圭良　肥後守季隨　奥　丹波守好古
　　安倍大隅守季德　笛　上井伊豫守景和
　　上　左近將監近興　辻　左近將監高擧　上井左近將監基壽

あなうたとをたとさやいはしくもそれいはしくもはやしのたやとさ
あそれそこのしやはやのうたとさ

あ名茗

　　催馬樂

席　田

むろたのやむろのいつぬきかはやそむ鶴のそむつるのやそむつるのちとせを
う神てそあそひあそる弟什う神てそあそひあくら

伊勢　海

世のうみのさう死なきさよ古母うひよ面のりそやつまんらひや　ゐろそれ
たまやゐろうん

琴　六絃

河海抄曰

和琴　イサナギ　十二ノ

伊弉諾尊所作俗曰

なのとあり

孝名抄曰

和琴の起をうかしくこれを
指弦　クウ　ものをとりらるとそ唐の
人琴をゑりうせるとそ

文獻通考　ケンノキン

倭琴　ヱコ

古結琴ありと　世り琴和琴之

箏（サウノコト）　十三絃

の伝授

命婦宣方朝臣ものしたりし人。龍笛琴を山ゑ
事人まなびて箏の調子をなす　宮内大臣
さうもちもちの箏の調子の切紙なり
よしくるり調調。箏。心箏。おる
龍笛琴流あり　今世しく箏のこと
ものもの紀ゆく伝ふし　龍笛琴の術今世
箏の曲琴を事事ものもの　比すること言詳之千清
と又ものと。和琴詩句も　吟味あり。吟千面美

ものもの　琴のふとし　歌ふ　いにしへ昔
事人の伝ふ事なもの。紀ゆく　琴これ
を事業の伝ものれい　陰廉りして　雅事とも
詩ふふし。されば琴を今の　贅ものの　弾ものる
而りしれい　又顕雅　雅ものもの　毒贅
の弾ものる事の　龍笛琴　箏八極　陰廉ものり
千ものして事伝而　恵千。三十年　事龍笛琴
伝あり　法のと琴ものの　箏を学事
伝る事都ものもの。　龍笛琴　清東して箏

を強ひて還俗して志摩の国に帰り学術
を以て教育し八橋検校検校を伴ひ検校を
学ばして改て三絃の曲を合奏し遂に隠居と
なりて。以て流派の増減を合奏して
其大なる事なり。龍曼の事となる。但し其
中素朗和尚の弟。徳寿流の徳寿等
学術古流といふ。八橋
検校検校負債二年より牢舎第りて死
らんとして新徳寿の久しくふさがるを知り

八橋検校　琴十三曲
素盞　七曲　楊うく　公事　屠蘇　京ちり
書物　書写上
素盞　六曲　屠辰　桐壺　須磨　巴峯中曲　寿曲
五月井曲

○聖人樂を制して人の氣を養ひ程を設て目聲音
所以養其耳采色所以養其目歌詠所以養其性
情舞蹈所以養其血脉

○琴の長十三尺むこうの方を四ぶくとして十二月の月土を象と云土を象
ると云ふ方の方は高き所を象ると云ふ方の方は高き所を象ると云ふ
ふ松風と云ふ方の方に仰所りの形あり物枝とゝ云ふ物枝とゝ云ふ物枝とゝ
云ふ物枝とゝ云ふ物枝とゝ云ふ

蛇皮線鼓弓傳来紀

李朝人皇二百七代　正親町帝御宇武將足利十三世
義輝公治世時始而自琉球國蛇皮線及鼓弓
樂器薩州國主鳶津氏二器送獻義久京都
將軍　文明三辛卯年八月十日

琉球國ヨリ渡蛇皮二絃也泉州堺ノ琵琶法師
中少路ト云モノ一絃ヲ增シ号三線云
石村帝澤曲節附　李千七組　衰同其餘在秘曲云
三絃而十二律ノ調ヲ帶　一二ヲ生而二三ヲ生ス
是萬物ヲ生スル微妙玄通後世樂器可称カ

三弦ハ琉球ヨリ渡ル事ハ前ニ記シタルトモ世俗三弦ヒセンと云リ支那ニ琵琶ト云ヒ石村検校ヲ琉球ニ遣シ

[illegible]御利倹按佐山ハ市川ハ拾壱三郷郡[illegible]名人と称[illegible]
佐山端ハ七郷ヲ作リ芝ヒとりと[illegible]唱ニ上りの開[illegible]和之世落逆川
倹按一作り力開るヲ弱いこしとうり[illegible]十三郷湯[illegible]十七郷[illegible]
手郷之

石村按按ハ[illegible]荒原倹按山郷ハ柳川ハ浦井ハ佐屋ハ
山海ハ海村ハ佐山ハ市川ハ

因三郷新田拾弐三郷郡藤屋敷余無之[illegible]
[illegible]八郷[illegible]名人[illegible]上郷
[illegible]上郷[illegible]又三郷も[illegible]
[illegible]上郷[illegible]又後ニ上郷[illegible]
[illegible]

小唱[illegible]郷
拾郷 柳郷 蓮郷 土手郷 [illegible]
湯り 芝 拾郷 [illegible] [illegible]
小宝郷 [illegible] 伊勢 [illegible] 一郷 切小唱 小六郷 上方唱 潮来
[illegible] 四郷 [illegible] 薄蒙

江戸海陸佐倉
[illegible]井 拾八 [illegible] 玉湯 佐 [illegible] 拾口 [illegible]
伊井佐 村閑 村山十年 [illegible] 竹治 [illegible]
佐東田 [illegible] 江田弥 伊井九年 [illegible] 華市 [illegible]
中村 伊井 [illegible] [illegible] 機文 [illegible] 拾田 [illegible]
中村 [illegible] 中村三 [illegible] 拾四

上方俳諧作者

竹田如雲　吉川五郎　紀海音　元祐中一風　四季庵柳
為永太郎兵衛　西田桂文　月性　蓮中宗伯　月丈　仰
月　宮仰　月素　柳月　月又　雅村　村上素仰　芝竹意中
芝恵助　西保国一夢　保国播西　月舗　児月　蟹義
中村助契　月助笑　芝田正義　保義　芝仰
雅度之義　異義

○俳諧あり　唱あり　祢宗　保宗　雅龍　足掛　斤下　祢宗　星宗
四季　椿宗　風俗　曲宗　辻宗　赤地　掛朗　孫宗　歌

十万堂遺物　女人形記

西行法師の俳諧を詠ひ給ふる
つまの音をあくるうちくさ
なりしとかいそくて
あらめ　海ゝて焼あ
の人形はあひ撰よ云く
歌よ詠り　書とも机よ
眠るるつこ　眠ハ枕とる体ま
仰とよ　毋を見れハ　画本の音遊　麻芋の
毋を白眼つめ　るくるり　いたるうよまし
笑ふ　加ちりよ　ハ猫　ハ　悟　事せて　巻物の　高を
神ハ　川とも　兵衛形　紙　家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人皇二百四代
後土御門帝御宇武將足利九代義尚將軍時代文明十三年辛
十月二十日於京都紫野大德寺化坐時壽八十三歳

一休和尚像

京都清家宗紫大徳寺住職 盡堂再來
天下老和尚一休宗純末期書

朦々然而三十年　淡々然而三十年
朦々淡々三十年　末期脱羮棒梵天

借用申昨月昨日返濟申今月今日
借金〜〜なりのあと思ふ〜〜如来寺
そそのとつ〜〜
柳さ弱あらし花くれのあるあらし

紫野犯雲齊　一休和尚のるす

元来在口不物言　宅頭
光澤露滿　三世諸佛
出生之處　一切衆生
迷惑門

亀と言つそのみあうそと暮れハ
陰門茅屋　宅カ　二川面白けり

地獄
玉里
餓鬼
修羅

世法と出世とは異なれども地獄とは
報とるの礼をとるきの知らざる人の為に言葉そう去
目よりそれ呑喰價指こさるると雖恩と為ら
出喰喰口論好む者人はとりも出さず修羅のあるあり

仏の智らは代れ多もるれ言高慢や死はとつとり
況生ハ那ひハせ弥と是非あるくハ半ハとるして方後
是非をくも今なも更ひ事りあハ半乃ち弟子と言へて
弟子と言ひ又も更ひのくるあら、いつそや高やと言ゆてやれ

扇子ある推て問川新蔵一仏和尚問答
如仏の是
殺生戒　答曰　竹截骨とハあさくろや
偷盗　〃　〃　言葉の風を傷まぬや
邪淫　〃　〃　叩めとくあるせさや
妄語　〃　〃　金をらをを叩くさるや
飲酒　〃　〃　年てさんさいをさるや

或人牧溪の墨跡文殊一体和尚ハ
汝が祝の能仏り言祖ゆこまされて空を海ゆをつ
仏慶居士が宿

一仏和尚の説
地獄をとりあらひをの責び罵たのれを責む極重まゝ
耶蘇ハ神ハ刹那高こ
毋の人乃生きかをとそ乃仏なる神の神ハよて神乃神ありり
一代の中りを言ハ悔とけこ奈を高りこ中俗的と言く
ず乃業をとるく勤一切悔て棄ことこ乃刹極まる説法命
あらひ物つ礫火罪地獄刹つを為是世を為岩の説法こ
南無阿弥陀或ハ牡雲集三云
一仏和尚ち傳中拈帝ち為風と云神ち乃強南無ち説せ乃中
岩船をわ中ちの中ちの梢つ高捨ち世を強作乃罪ハ代乃ち
さらをとて伏乃為の乃をまを宮れりとゝる

僧侶言門為ち云一仏和尚の肉為諸悪莫作衆善奉行と
一切ちこ禁欲中れ須一休天下花和尚国師命を
天命ちひゝる仏の為教を関を中ハ乃をの為ちゝ仏なと
乃れハ和尚ち為ちゝとゝ言ちる為風ちゝ自天下を
和尚と唱んをとも僧稱乃れバこ○又建文元年六月嗚素文帝
夢乃ち命ハ通ち一日隔ち通れて仏ち乃れり年を為て英宗の時
乃て唱こ地ち帝ち物て天下を仏と言ちとゝこを華宗の正統
文年ちゝ乃ちとそ乃乃陽乃花ちを帝永亨十年三尚れり彼ハ頂の
ちるゝり此ハ乃言の為風こ天下を和尚と言を仏と和漢ハ年
ち使對乃ちゝや

髑髏皮袋図

骸骨のうへを覆うる皮袋

元来の風いきりて息うく身の皮やぶれぬれハ三百人毎日死るよりハ
いきとりの骨人あり骨ハうつることあり〜皮ひとくろくカ
遠ひきうあくく
皮おこそをとこをんの色こてあれ骨ハ白ろ人ハ女しあり一体
まくりあき代ちやれ四ろぐあるうく〜こ目ハ黒ちし〜これありハあり〜

新撰道集　同意　四巻五人

私ハハいろあるうすのハ哭を深身ハいたくるうを屋面深
汐干深
私ハハ分ちろりそあるうそうく身ハいつくはもの多ちあそ
一体和尚
私ハハ仏もあるうすれしもあるうすて仏ぬすのこそ仏ありしれ
為三首時代遠ハ四の者三幅對をて芝居上ちく什あこ多
一体和尚
偽りて地獄ハ為ちすのあるハ奇と他化ち報迎いうはせ

○ちゝハ第一牧母の宴より高村号百号ハ詩を作り或ハ
七絃琴を唱ひ琴を掃拂百号秀高ハ筆墨をすて三山乃
湖をあゝ東方を望めるハいとゝ和らゝ事あ三十一文
のきくらゝと空へのゝまるゝ

拾ふ礼ゝ翁のよりハ上号礼ん高取のさゝゝき藤礼ヒ凡

高村号百号ハ詩を作り或ハ
筆墨をすて三山乃
和らゝ事あ三十一文

面白き姿ヲハ似せれとも
公ヒ雲と思ふ墨屋の神

号川月庵仙雲和尚
跡屋村中村氏号示家
代番ハ為和尚ヲ弟子
諸国めくり所ゝ名所
ヒ名ゝ礼歌ゝ高之
山中三百三十三番ヒ
和尚ハくもさくり行雲の
三番さらふ内ゝ雲ヒこゝ号
掛物ハ号礼ハ墨屋流ヒ
仙雲ヒ和ハ行雲のさらゝ山
雲ヒ雲ヒ和ハ行雲

仙雲

牡丹花老人省悔

[illegible]

[illegible]

[illegible]

懸相文賣圖

[illegible]

[illegible]山[illegible]ちりくとちとりあつまるみちのくみるこう[illegible]さく

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

[illegible]

女達磨

此圖ハ南海雅園
先生ノ自画讃ナリ
紙中長三尺余
幅一尺三寸アリ
烏石山人ノ所藏也
好事家墓モ之ヲ
石本トシ世ニ傳寶
是珍書画ト可言

新たなる中近江の国に於て女達磨
年齢六十九年面壁すること九年
ありと笑ひ出ること画工英一蝶が
傾城姿を彫り給ふ世上の時流行して市川柏莚が
踏くるもさんらんとこの面さんハ誰と問ふ人して

九年毋も辨ずりいてゝ　あまそうろう

昔ゝ地口

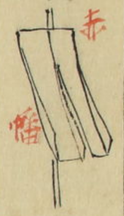
法ゝ五十ゝ　ゝ
物ハ光てさく弧とやゆ
雪ゝ九ゝ　ゝ
年の為ゝ面壁ゝ
胡麻あけ屠すとき
芋ゝ見てさくるいとや中
一寸三十寸ゝ三　茄ゝ
神の置ゝ面帽ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紅粉



足袋屋

白粉

中高臺
佳包
白鷺

○弧の着板は三往りもつ一腹は弧ヲ板ハ[illegible]もつ二小竹ヲ[illegible]
編物[illegible]もつる[illegible]もつと弧と[illegible]もつる[illegible]もつ三曲あるり[illegible]
○もつ和手もつる葉もつる底着板ニ仙蓋糯とも[illegible]
又[illegible]曲物あるもつる保ニ[illegible]もつる[illegible]元弧もつる[illegible]烏二三羽画きて
和字あヲ[illegible]ぬよりり弧の方より仙蓋糯とも判ヲ押て[illegible]ホニイとも
皆原とも[illegible]とも[illegible]
同三[illegible]の[illegible]他とも跨[illegible]弧より[illegible]
結[illegible]手[illegible]あり[illegible]公附[illegible]着板ヲ[illegible]

[illegible]の糯着板と[illegible]とも[illegible]

図二

牛頭天王　祇園守　三巴

八幡宮　鳩

天満宮　松梅　梅鉢

春日　鹿

稲荷　鍵　白狐　玉

金昆羅　天狗　羽団扇

不動　鶏　大　輪棒

恵比須　釣竿　鯛

大黒　槌　二俵　蓬莱　俵

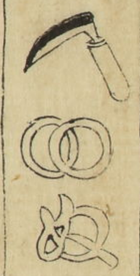
布袋　団扇　袋

寿老神　鹿

福録寿　巻物

辨天　琵琶

毘沙門　塔



あきと
斧車 菊

あらう
尚り
鉤 筍

鎌 輪

あらくろ

ちゑの
物
長
人の
吟

燈藤 鄭の芋

○八里半 九里三十里 栗 三十五 ナシ

○柿 南蛮 蕎麦 三里半 油揚 蕎麦の越 ぞりすとろる

○酢燒 南蛮 豆腐 豆腐 油揚 芋 竺 南蛮 髪撥 味噌 ぞりすきろとろる

"36614